

あがつま

「兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」



(ローマの信徒への手紙 12章1節)

♪ 賛美歌を歌おう ③④ 『まきびとひつじを』

(讃美歌 103番)

クリスマス情景をありありと歌う、イギリスに伝わるクリスマス・キャロルです。日本では、キャロルといえど、イースターやクリスマスなどのキリスト教のお祭りには、キャロルにあわせて輪になって踊ったのだそうです。そういった意味では、日本の盆踊りに近いものがあります。宗教的な歌詞を持ったキャロルは、次第に教会の礼拝でも歌われるようになっていき、17世紀のピューリタン革命による厳格な聖書主義への変革の中で、典礼から排

除されていきました。そのように姿を消したキャロルが、「再発見」されたのは、19世紀になってからのことです。農山村でひそかに歌い続けられていたキャロルを、学者たちが見つけて紹介したことで世界中で愛唱されるようになりました。

この賛美歌の英語の曲名は、「The First Noel」(最初のノエル)です。ノエルというのは、ラテン語の「ナタリス」(誕生日)に由来する言葉ですが、現在ではノエル＝クリスマスという意味で定着しています。

和声の美しい賛美歌ですので、四声に分かれての合唱などにも、ぜひチャレンジしてみてください。(稲垣真実)



